



六郷高校

コミュニティ 通信

「笹竹の精神」が支える地域と福祉の未来！



認知症サポーター養成講座が実施されました！

5月24日（月）に1年生を対象に認知症サポーター養成講座が持たれました。当日は、美郷町福祉保健課より講師をお招きして、認知症について詳しく、また寸劇を入れながら分かりやすく御指導をいただきました。講話に続いて、実際に町で迷子になった高齢者にどう対応するべきか、グループに分かれて話し合いをもち、最後にそれぞれの考えを共有しました。各グループからは、「ていねいなコミュニケーションを心がけるべきである」や「認知症の方であっても、相手の気持ちに寄り添う優しい気持ちを持つべきである」といった意見が多く出されました。



◎認知症の方への対応の心得 ” 3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

認知症の方々への援助には障害を理解し、さりげなく援助できる「人間杖」が必要だそうです。まちのあらゆる所に温かく見守り適切な援助をしてくれる人がいれば外出もでき、自分でできることもずいぶん増えるでしょう。よって、私たちは「こころのバリアフリー社会」を作っていく必要があるのです。誰でも自分や家族が認知症になる可能性はあります。私たちの認識として「認知症の人」がいるのではなく、その人がたまたま認知症という病気になっただけなのです。さりげない支援こそが大切です。



◎具体的な対応ポイント

- 1 まずは見守る
- 2 余裕を持って対応する
- 3 声をかけるときは一人で
- 4 後ろから声をかけない
- 5 相手の目線に立つ
- 6 おだやかに、はっきりと話す
- 7 相手の話に耳を傾ける

令和3年度 第18期生福祉科 宣誓式が行われました！！

5月25日（火）に令和3年度 福祉科18期生 宣誓式が保護者や職員などが見守る中で催されました。今年度の2年生福祉科は10名です。福祉を学ぶ上での決意を再度新たにし、それぞれの目標と来年度の国家試験に向けての頑張りをスタートさせていきます。福祉科を代表して山崎響冴（やまざき きょうご）君が決意表明を行いました。それによると「一人一人の心豊かな生活を支え、介護福祉の専門職を目指し、知識と技術の研鑽に励み、そして豊かな感受性と深い洞察力を身に付けるために努力する。」といった内容でした。まさに社会を支える一員になるという決意が感じられました。また、佐藤智和 校長先生からは「介護福祉の専門職になるには道のりはとても長いものですが、皆さんは地域の宝です。将来は社会で活躍できるように自分自身を磨いていきましょう。」という激励のメッセージがありました。

これから補習、さらには施設実習など専門的な学習が本格化してきます。介護福祉士、国家試験合格という目標に向けて着実に歩いていってほしいと思います。



2年生の普通科生徒が農業科学館に出かけました！

5月28日（金）の午後を利用して2年生の普通科生徒が大仙市にある農業科学館に出かけてきました。地元美郷町の一大産業である農業について学ぶ一環として、農業の歴史や米の品種改良の歴史について学ぶことができました。どういう時代を経ても、農家の方々の耕す心は変わらない、という信念が背景にあって今の秋田の米があるということも学びました。



〈見学しての感想から〉

普段食べているお米ができるまで、多くの手間と困難さが伴っていたことに驚いた。また、品種改良に込められた思いについて学ぶことができ、有意義だった。